

社会福祉だより

志あわせ

2023(令和5)年1月1日 169号

総人口 6,438人

65歳以上人口 2,862人

高齢化率 44.45%

2022(令和4)年12月1日現在

ヘルパーサービス



あの頃



年越おせち事業



いま

老人クラブ健康増進大会



おかげさまで



周年

一年に亘り、『志あわせ』に智頭町社会福祉協議会50年の軌跡を掲載してきました。「懐かしいなあ」「へえ、こんなこともあったんだ」と様々な想いで『志あわせ』をお読みくださった皆さまに、あらためてお礼を申し上げます。

これからの50年も、私たちは住民の皆さまのご協力をいただきながら、新たな取り組みも検討しつつ皆さまに愛される協議会を作っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

〔発行〕智頭町社会福祉協議会 八頭郡智頭町智頭1875 TEL75-2326



50周年マスコットキャラクター
きょうちゃん



智頭町社会福祉協議会 法人設立50周年 記念特集

ご挨拶

社会福祉法人智頭町社会福祉協議会

会長 小林 一晴



智頭町社会福祉協議会は、令和4年(2022)10月23日に社会福祉法人設立50周年を無事迎えることができました。

ようやく戦後の復興期を脱し高度成長真っ只中の昭和38年(1963)。智頭町社協は任意団体として発足しました。

まだ福祉をめぐる公的制度は充分ではなく、社協には貧困対応や高齢者対応等についての期待が寄せられました。

そのため、福祉資金の貸し付けやヘルパー事業を開始した智頭町社協でしたが、これらの仕事を責任もって行っていくためには社会福祉法人組織になる必要がありました。

そして昭和47年(1972)10月、設立発起人となった当時の役員の皆さんや事務局の皆さんの奮闘によって社会福祉法人智頭町社会福祉協議会が設立されたのです。

以来50年。時代の要請に対応してさまざまな活動を行って参りましたが、その傍にはいつも住民の皆さんのあたたかい支えがありました。心から感謝申し上げます。

そしてこれからも住民の皆さんのお力添えをお願いしまして、ご挨拶と致します。ありがとうございます。ございました。

座談会

智頭町社協の今昔物語と これからへの期待

社会福祉協議会は、住民の皆

さんのほか、行政・民生児童委員・医療機関・福祉施設・介護サービス事業者・ボランティアなどの福祉関係者の参加・協力のもと、住み慣れたこの町で、住民の皆さんが安心して暮らすためのさまざまな活動を行う組織です。

智頭町社協では、民生児童委員協議会・婦人団体・老人クラブ・障がい福祉事業所などの参加で理事会や評議員会を構成し、活動を行ってきました。

少し前までは事務局もごくわずかな人数だった智頭町社協。

その智頭町社協の活動を長く支え、職員以上に智頭町社協のことをよく知る皆さんにお集まりいただきお話を伺いました。



【聞き手】

智頭町社会福祉協議会

常務理事 津田 英樹

今日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

私は智頭町社協に来てから16年経ちますが、当時、すでに皆さんは理事や評議員として活躍されていました。

以来、この町や社協のことをいろいろ教えていただき、時にお叱りもいただき、そして皆さんのご無理をお願いして今に至っています。

今日は皆さんが社協の運営に関わっておられた頃を思い出していただき、また、これからの智頭町社協に期待することなどをお伺いしたいと思います。

後列向かって左から

西尾 功枝さん（元評議員）

萩原 節子さん（元理事）

谷口 君子さん（元理事）

前列向かって左から

谷口尚一郎さん（元理事）

國政 隆昭さん
（元理事・評議員）



■社協って何をするところ なのかわからなかった頃

―地域の見守りや配食活動、共同募金活動をはじめ、社協のいろいろな活動を支えていただいている民児協（民生児童委員協議会）の会長を長く勤められた谷口尚一郎さんにお話しをお伺いしましょう。

●谷口（尚） わしは平成元年（1989）に民生委員になり、その3年後に民児協の会長になった。そうすると理事として社協の活動にしっかり関わることになるわけだなあ。

しかし、社協の活動っていったい何をするのかよくわからん。だから自分なりに調べて勉強したわけだ。苦勞もしたけれど、民生委員や社協の活動を続けることで、ものすごく勉強になったのはまちがいない。福祉というものの幅の広さと奥の深さを感じることができたと思うなあ。

当時は、社協の事務局体制も今のようには整っていなかったと思うが、いろんな活動をするには、町社協よりも地区社協に直接働きかける方が早い、というような話

もあったなあ。

―私もその話は聞いたことがありますが。住民の皆さんからお預かりした社協会費を町社協ではなく地区社協に直接渡した方が良いのではという話だったと思うのですが、まだ、町社協がしっかりした活動の方向性を持っていなかったということなんですね。

●谷口（尚） でも、社協バスは大活躍だったよ。老人クラブや民生委員の研修会、保育園や小学校、他町村との交流研修……。多くの団体が利用できて本当に良かった。

また、社協の福祉大会で地域に自生する薬草を採取し展示して好評だったり、家庭の味噌を持ち寄って塩分測定をしたり、血圧測定で健康チェックをしたり、バザーの準備をした後、雨が降って濡れてしまったり。会場設営に前日から取り組んだ思い出があるなあ。

早くコロナが終息して、ほのぼのフェスタができるようになってほしいなあ。

―社協バスは昭和60年（198

5）〜令和2年（2020）まで35年間、老人クラブやミニデイなど地域活動に大活躍してくれました。

福祉大会は昭和51年（1976）から現在まで長く続いていますが、コロナが流行してからは開催できていなくて本当に残念です。

●谷口（尚） 話は変わるが、毎年夏にある慰霊祭で戦死者の遺影が映されるんだが、あの映像は社協が作ったものだなあ。あれは良いよ。

●國政 うん、あれは本当に良い。「慰霊祭に来ると、戦争で亡くなった父に会える」と言ってくれる人がたくさんいる。

わしは平成4年（1992）に遺族会の会長になり（遺族会の事務局をしている）社協と関わるようになった。それが、いつの慰霊祭だったか忘れたが、献花が始まると壇上に戦死者の遺影が映しだされて本当に驚いたよ。

あれはどういう経緯で作ったのかな。

―あの映像ですか？ あれは平成

23年(2011)の慰霊祭で初めて映しましたが、会場の皆さんが驚かれていたのをよく覚えていますし、当時の町長が式の途中に「もう一回映してくれ」とリクエストされたこともよく覚えています。

平成21年(2009)だったと思いますが、当時、体調を崩されていた役場福祉課の課長に「慰霊祭の準備を手伝って」と頼まれて初めて慰霊祭に関わりました。ところが当時の慰霊祭に出てみると、挨拶と献花があるだけで何かもの足りなく感じ、もう少し工夫できないものかと考えていた時に、ちょうど昭和55年(1980)に刊行された智頭町英霊年鑑というものを見つけました。読んでみると涙がとまらない。この本には戦死された514名の方の遺影が収められているのですが「よし、これを慰霊祭で映そう」と考えてたわけです。

でも作業が結構大変で、遺影をスキャナーで読み取ってデータ化していくのですが、仕事の合間にするので結局一年以上かかってしまいましたねえ。

●國政 わしは県遺族会の会長も

長いが、県内であのような慰霊祭はないし、大袈裟ではなくあの映像は智頭町の宝だと思っておるわけだ。別にお世辞を言うわけではないが、あの映像ができた頃から社協が頼れる存在に思えてきたなあ(笑)



町戦没者慰霊祭のようす

■日常生活の中の社協

●谷口(君) 私は連合婦人会の代表として社協の理事になっていましたし、広報誌の編集にも長く関わっていましたけど、悪いけど「社協って募金を集めるところ」ぐらいの認識だった。でも、気づいてみると自分の日常生活のいろ

んなところで社協の活動に関わっていましたね。

●西尾 そうそう、社協の活動という意識はしてないんだけど、普段の生活の中でね、気づけば社協の活動だった、ってことが多いわあ。畑だって、社協の活動のひまわり会や給食ボランティアに野菜を持っていくために種を多めに蒔いたり、ワラビやぜんまいを干したり、野菜を塩漬けしたり。そんなボランティア精神を持った方が多かったですよ。

●萩原 私も給食サービスが始まった時から畑で野菜を作ってた。いろんな人がひまわり会や給食用に野菜を作ってますよ。

もともとひまわり会は自分たちで話し合って、手弁当で始めた取り組みですからね。

ー給食サービスは昭和57年(1982)の秋に始まってますから、40年も給食用に畑を作ってたさってたわけですね。ありがたいことです。

●西尾 私は民生委員として社協

の評議員になっていたけれど、正直言って私も社協って何をするところなのかよくわからなかった。

ー社協の組織が未成熟だったということですよね。役員・職員の中で社協が何をするとおこなうのか、十分に理解できていなかった、だから住民の皆さんにお知らせすることも充分ではなかったのだと思います。これは社協がある限り続く課題でもありますので、この反省を生かしていきたいと思います。

●萩原 私は民児協の副会長として、平成16年(2004)から平成24年(2012)まで社協の理事をしてましたが、そのタイミングって社協もものすごく変化が激しかった時期なんですよ。財政がひっ迫したり、事務局の人員が確保できなかったり、事務所がほのぼのに移ったり、智頭心苑の運営が始まりました。

ーそういう時期に、民生委員の活動も頑張っておられたし、社協の理事として、共同募金の活動も一生懸命、給食サービスも一生懸命、村の中のサロン活動も一生懸命：

いや、本当に感謝しております、というか、このバイタリティーはどこから来るんだろう、って敬服していました。見習わなくてはいいけませんね。

●萩原 我ながら本当に頑張ってきたなあと思っています。でも、こうして振りかえってみると、全部、社協がらみじゃない！（笑）

でも、変化が激しかった中で、職員の皆さんも大変だったんだろうなあって思います。

たとえばね、私は、社協と合併する前の「べれっと三田」の苦情解決委員をしましたけど、会議が穏やかなんですよ。ところがこの数年、社協の苦情解決委員を引き受けてみたら、これが本当に厳しく会議が進められていて驚いたことがあります。ごく些細な苦情でも原因とか対策が議論されていて「ここまで議論するの？ これは大変な仕事だなあ」って思っていました。

●西尾 ミニデイでもサロンでもみんなが集まって楽しいから続いているんですよ。

この年齢になってくると、日常

生活の中でお友達と楽しく過ごせる、それがお互いの支えになっている。そんな場があるって、ものすごく大事なことだと思うんだけど、社協がそのきっかけを作っているんですよ。



多くの集落で取り組まれているミニデイ

●萩原 そう。私の村でしていたサロンは、なんと江戸時代から続いた集まりだったの。

「江戸時代から、という話は聞いていなかったですねえ、びっくり！」

でも、皆さん楽しそうにされていて、10年前だったか全国社協の広報誌の取材を受けたこともありましたねえ。

●國政 介護が必要になれば社協のケアマネジャーやヘルパーが世話してくれる。智頭心苑に入所することもできる。成年後見だってお願ひできる。多少は頼れる社協になってきたように思う。

そう言えば、智頭心苑の民営化を検討している時、「社協が運営できるのか？」という心配の声がいつぱいあったなあ。

●谷口（尚） 確かにそういう声はあった。

「そういうご心配の声は、本当にたくさんあったと聞いていますし私もいろいろな方から直接伺いもしました。そういうご心配は当然だったと思います。職員もほとんどいかなかったくらいですから。」

だからこそ、きちんとやっていくって思ってきたわけです。

さて、昔話は尽きることがないのですが、これまでの智頭町社協をずっと支えてきていただいた皆さんから、これからの智頭町社協に期待することをお伺ひしたいと思います。

■これからの社協への期待

●谷口（君） 最近、私の周りでも認知症の人が増えてきて心配なんですよ。私の村でも、ミニデイの集まりにいつも参加していた方が社協のデイサービスに通うようになって、「できることはしてこうね」って近所同士では話しているんですよ。

となり近所で、肩ひじ張らずに互いに助け合えるしくみを、これからは作ってほしいですね。

●國政 前は家族もいっぱい一緒に暮らしていて、それがずっと続くものだと思っとった。それがだんだん独立しておらんようになって、この先、ひとりで暮らすことになるかも知れん。この齡になつてみて、思うようになってきたんじゃが、独居というのはたいへんだらうなと。

で、もしそうなった時に、ちよつとも助けしてくれる社協であってほしい。どのように社協に関わってもらえるか、どのように助けてもらえるか、わしらも考えるが、これまでとは違う視点が必要だと思う。

社協には今までずっと関わってきたから、これからは困ったことが起きたら、その時は頼むで（笑）



「今日、こうして皆さんのお話しを伺っていると、見守りのための給食サービスやひとり暮らし高齢者のひまわり会、ミニデイやふれあいサロン、そういった活動が、私たち事務局が思っている以上に住民の皆さんの日常生活の中に根付いているんだなあって改めて感じました。」

「以前は組織ができていなかった」あるいは「町社協にはまかせられなかった」「心配だった」というお話もたくさんお聞きしました。

たしかにそういった部分もあったと思います。しかし、このような活動が日常生活の中に根付いているのは、この50年の間の、職員や役員の皆さんが地道に地域に出向き、それぞれの仕事にきちんと取り組んできてくださったからこそだと思えますし、それを受け継ぐ私たちは本当に感謝しなければいけないと思います。

法人設立60年、70年……。これからも智頭町社協は続いていきます。大きなことはできませんが、「社協があつてよかった」と言ってもらえるよう、住民の皆さんと共に、地道に活動を重ねて参ります。

今日はたいへんありがとうございました。



きょうちゃんとゆかいな仲間たち

智頭町社会福祉協議会法人化50周年を迎え、当会に新しいキャラクターが誕生しました
..☆\(^°▽°)/☆..+

きょうちゃんたちの頭の6色は智頭町の6地区をあらわし、まゆ毛は智頭町の山をイメージしています。

社協の『きょうちゃん』が智頭町の皆さまにとって親しみのあるキャラクターになってくれたらとてもうれしいです。

そして、新しく福祉の『ふくちゃん』と智頭の『ぶーちゃん』を仲間に加え、これからたくさん活躍していきます！ぼくたちをどうぞよろしくお願いします☆

きょうちゃんプロフィール

身長：130cm

体重：ブルーベリー3粒分

誕生日：8月7日（はなの日）

すきな食べ物：おいしい柿の葉寿司



ふくちゃん

きょうちゃん



ぶーちゃん

新ひまわりシステム(ひまわり便)の紹介

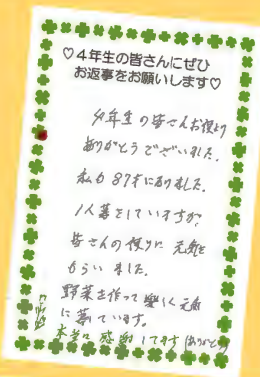
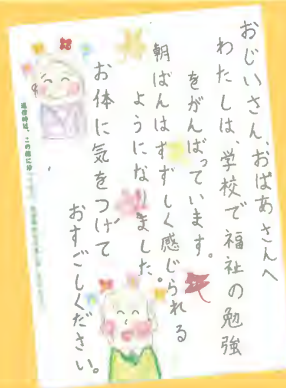
ひまわり便は、ひとり暮らしの高齢の方等へ毎月1回、安否確認を目的に、郵便局員さんがお便りを配達するしくみです。お便りは、住民の皆さまや保育園・小・中学校、高校生に協力をいただいて作成しています。

園児・児童・生徒が、おじいちゃんおばあちゃんに宛てて一生懸命作成した様子と作品、返信のお便りを紹介します。

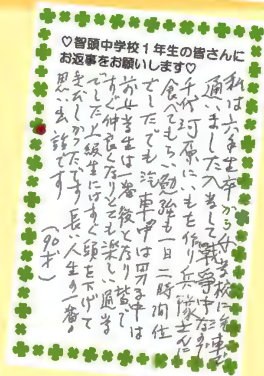
ちづ保育園
年長



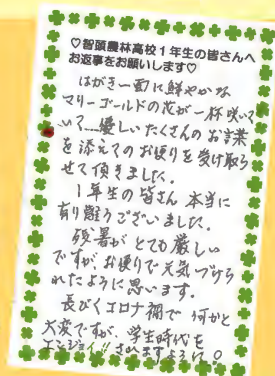
小学校
4年生



中学校
1年生



智頭農林
1年生





えんくるり事業

(生計困難者に対する相談支援)

～複雑化・多様化する生活の課題に対応した公益的な取り組み～

えんくるり事業とは

県内の社会福祉法人が種別の枠を超えて協働し、さまざまな人の「助けて」や「困った」にいち早く気づき、支援をするしくみです。

「人と人」、「人と地域」、「人と組織」をつなぎ、ご縁の輪をくるとつなぐことができるようにとの想いが込められています。

仕事やお金、病気、住居、家族のことなど、さまざまな問題を抱え、困っている方をサポートします。

ご相談ください(相談は無料です)



えんくるり事業ご利用手続きの流れ

相談

相談員がお話をうかがい、状況を把握しながら課題の解決策や生活の見通しをご本人と一緒に考えます。

制度へのつなぎ

生活保護や各種福祉サービス、社会保障制度などの利用について関係機関と連携して検討します。

経済的支援

制度で対応できない、または緊急を要すると判断した場合に、現物給付による経済的支援を実施します。

「地域での自立を目指した生活」を目標に、継続的な相談、支援や見守りをします。

周囲でお困りの方がおられましたら、ご家族やご近所の方など、どなたからでも構いません。

智頭町社会福祉協議会 あんしん相談センター ささえーる TEL:75-3772

福祉のことで知りたいことお伝えします



施設見学会

施設見学会は、施設の雰囲気や施設での生活の様子を実際に目で見て知っていただけます。その他にも利用方法や必要な費用等の質問や相談にも対応させていただきます。お気軽にお問合せください。



出前説明会・講師派遣

智頭町社協には、福祉・介護に関する専門職が多く在籍しています。ミニデイやふれあいサロン、町内会・集落などからのご希望により、専門職を出前説明会の講師として派遣します。

【説明会の例】

- ・介護サービスについて
- ・障がい福祉サービスについて
- ・成年後見制度について
- ・ACP(人生会議)について
- ・防災福祉マップについて
- ・認知症ケアについて
- ・その他、福祉・介護に関すること

お問合せ：智頭町社協 総務課 電話75-2326

2022年度 表彰者紹介

多年にわたり、智頭町をはじめとする各地で福祉の推進に尽力された方々をご紹介します。
(敬称略)

智頭町社会福祉協議会 会長表彰

◎社会福祉功労者 (10名)

藤原 一彦 小坂 育代
酒本 道枝 大坪 昌代
大呂 千秋 森本 洋子
浮田 伸子 中澤 八重子
藤原 五月 中島 節江

◎福祉団体・福祉施設功労者 (6名)

藤本 光治 小林 一晴
國岡 俊一 久本 孝子
壽村 泉 藤森 絵理子



鳥取県社会福祉協議会 会長表彰

◎社会福祉施設・団体職員功労者 (2名)

今倉 環 安住 友世

◎鳥取県共同募金会長表彰 感謝個人 (1名)

小林 一晴

鳥取県知事表彰

◎民生委員・児童委員功労者 (6名)

久本 孝子 小林 一晴
福田 達志 竹下 逸雄
佐々木 賢次 長谷 諭

智頭町老人クラブ連合会 会長表彰 (2名)

国政 公雄 竹下るみ子

八頭郡身体障害者福祉協会 会長表彰 (3名)

久本勝一郎 白岩 淳代
聲高 幹男

地域で防災福祉マップづくり

河三町内会 マップの見直しを行いました！



10月25日(日)、河三町内会が4年ぶりに防災福祉マップを見直しました。

冒頭の講座では、この4年で地域の様子がどう変わったかをデータや写真で見たり、近年の災害の様子、避難情報について再確認しました。地域の人口変動、高齢化率の変化や災害や防災情報への関心は高く、後半のマップ見直しでも4年前作ったマップとの変化を見ながら様々な意見が出ていました。

智頭町社協では、取り組みをお手伝いしています。マップ作成がまだの集落、見直しをお考えの場合は、お気軽にご相談ください。

お問合せ：総務課 75-2326

歳末たすけあい募金の 使い道

～ひとり暮らし高齢者の方へ

年越しおせちをお配りしました～

満73歳以上のひとり暮らしの方を対象に、年末年始を心豊かに過ごしていただくよう、平成元年から民生委員さんのご協力のもと、おせちをお渡ししています。



勝手に表彰!

第32号



くにおかしょうへい

國岡将平さん(富沢)



相談や困りごとがある方と関係機関とをつなぐ生活支援コーディネーターとして活動する國岡さん。林業に係る事業所を経営し、平成30年に鳥取大学の「林業と福祉をつなぐプロジェクト」に参画したのをきっかけに、町の委託を受け、福祉の課題を住民目線で考える機会を作っておられます。

当初「福祉」という言葉が重く感じられ“専門職じゃないのに僕でいいのかな?”と思ったそう。しかし以前から“高齢になると施設に入って家族別々になってしまうのがやるせない。歳をとっても自分らしく暮らし続けるのは難しいのかな?”と思っていたこともあり、次第に「高齢者が笑って暮らせることは、自分たちの将来につながるんじゃないか。今、自分にできることをすればいいんだ」と、福祉が身近な“自分事”と感じるようになったそうです。

町内のコミュニティーが希薄になっていることを肌で感じている現在、林業や百人委員会などのまちづくり活動を通じて「どうすれば老若男女問わず、困った時に支え合いながら、智頭で安気に暮らし続けることができるか?」を常に考えている國岡さん、勝手に表彰します!



「志あわせ」の ご意見・ご感想を お寄せください

抽選で3名様に
『トスク商品券』を
プレゼントします。



①応募方法

ハガキまたは応募用紙等に住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、ご意見・ご感想をご応募ください。

②応募先

〒689-1402
智頭町智頭1875番地
智頭町社会福祉協議会 総務課
電話: 75-2326
メール: chizu0804@jade.plala.or.jp

③締め切り

2023年1月31日(火)

※当日消印有効

読者の ひろば



法人設立50周年を拝読し、

一番に感じたことが、「安心して暮らしていける町なんだあ、もし困りごとがあったら社協に相談してみよう。どこかで誰かが悩んでいたら声をかけて教えてあげるのも福祉に関わる第一歩かもしれない。」と感じました。

また皆さんが生き生きと活躍されている写真を観ると、こちらまで元気をいただいているようで、心の中で私も頑張ろうと思いました。

(那岐 60代女性)

志あわせを心待ちにして読ませていただいています。カラー印刷の部分が多く大変読みやすいです。町の福祉、各地区のさまざまなとりくみの様子がよくわかります。

福祉のあゆみ50年は大変興味深く、先人の方々の福祉に対しての思い、たゆまない努力で築かれた土台で今日に至っていると思います。私も自分の出来ることを出来る時に少しでも実践に移していきたいと思います。

(山形 70代女性)

☆ご感想ありがとうございました。

社協会費納入金額 一部変更について



2022 年度社協会費のご協力ありがとうございました。

志あわせ 10 月号にてお知らせしましたが、智頭地区集落から追加で会費の納入をいただきましたので、修正した金額をお知らせいたします。

地 区	金 額	
	変更前	変更後
智 頭	815,000円	825,000円
山 形	288,000円	288,000円
那 岐	280,000円	280,000円
土 師	274,000円	274,000円
富 沢	178,000円	178,000円
山 郷	162,000円	162,000円
合 計	1,997,000円	2,007,000円

ご寄付 ありがとうございました

(2022年9月～2022年11月まで)

*金一封 匿名

*福祉車両

奥井 悟 様

*古布・タオル・シーツ 等

小林 禎子 様

藤原 和子 様

智頭町赤十字奉仕団 様 匿名多数

*玄米30Kg×3 匿名

*はれっと三田・自立の家

あおぞら(グループホーム) への各種食材

各地区給食ボランティア 様 匿名多数



掲示板を使って仲間づくりを募集しませんか？

子育て世代で集まりたい、趣味の活動を広げたい、運動する仲間がほしい、同じ悩みをもつ方と話をしたい等々、まずは智頭町社協までご相談ください。

お問合せ：総務課 電話75-2326

掲示板

仲間大募集

このコーナーは、住民の皆さんが交流・趣味・運動等の仲間を募集するコーナーです。

マジックをやってみませんか ～智頭マジッククラブ～

皆さん、テレビのマジックショーをご覧になったことがあるかと思います。軽妙なトークやハラハラドキドキの場面があります。



皆さん、マジックを演じる立場に変わってみませんか。当クラブでは現在会員7名で、月1回、総合センターで練習、出演も年数回行っております。皆さんのご入会をお待ちしています。

◆日 時：毎月1回 火曜日 13:30～16:30

◆場 所：智頭町総合センター

◆参加費：無料 ◆お問合せ：75-0383(林)

香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用していただいています。

11			10			9							月
金一封	金一封	金一封	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	金一封	五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	ご寄付額用
三田	青津	智頭	中原	三田	智頭	郷原	西野	大背	新見	智頭	新見	三吉	住所
谷口	武田	萩原	葉狩	玉木	岸本	平尾	大坪	久本	北村	萩原	河村	田中	故人のお名前
洋二	貴美恵	房枝	艶子	久子	節子	繁子	操子	一臣	信子	明子	行夫	蓉子	
71	90	99	94	98	79	95	89	88	96	96	75	86	年齢
谷口 慎一朗	武田 浩年	萩原 敦志	葉狩 秀之	玉木 勝美	岸本 壽治	平尾 義徳	大坪 慶子	久本 三紀	北村 光生	萩原 学	河村 美智恵	田中 孝男	寄付者ご芳名
												山中 大吉郎	

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

(2022年9月～2022年11月まで)

香典返し等寄付金ありがとうございました

ふれあいサロン紹介

●登録数 111グループ ●登録者数 1,520人（12月1日現在）

Vol.70

智頭マジッククラブ（全域）

智頭町の生涯学習講座で、マジック講座を修了した仲間が同好会をつくったのが始まりで、3年前に会員7名でサロン登録しました。マジック歴は、近年始めたばかりの人や、学生時代からしていた人、10年～20年以上の人など様々です。年齢に関係なくマジック仲間が月に1回火曜日（週は不定）の午後に、総合センターで練習をしています。

コロナ前は、年に数回は先生を招き練習したり、岡山県奇術連合会交流会に参加して他のグループの演技を観たり、ステージに出演したりしました。

また、智頭町のハイカラ市や雪まつり、時には老人福祉施設を訪問して演技を披露しました。マジックの魅力をお聞きすると「マジックには夢があるんです。子ども達がどんどん近寄って真剣な目でみてくれる。それが嬉しく…」また、マジックをすると種がわかるのでそれが嬉しいし楽しいそうです。

これからの目標は、練習を続けながら腕を磨き、元気に楽しく続けて行く事！出演の依頼があれば喜んで行きます。マジックに興味のある方は是非参加してください。



マジックは見るのも楽しく、する側はもっと楽しいですよ！

ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

ふれあいの場 ミニデイ紹介

Vol.40

とちの実会（芦津）

ミニデイを始めて12年。最高齢86歳、平均年齢81歳の8名がメンバーで、毎月1回どんぐりの館に集まり交流しています。次の日程は、毎週の体操サロンの後に、全員が集まれる日に決め、メニューも同時に決めていきます。会費は集めず助成金（600円）の範囲内で作る事を motto にしています。

「一緒に料理を作り、みんなと話をするのが楽しい。次のミニデイが今から待ち遠しいです♪」と、元気で活気に満ちた会話が延々と続きます。食事作り・会食・交流・歌を合唱・最後に「命の貯蓄体操」で締めくくり。

ミニデイを始めた時のスタイルで現在もみんな元気で頑張っています！

60歳以上の方の健康の維持・増進・生きがいのある生活を支援する活動「ミニデイ」の活動を紹介します。登録数：36グループ 登録者数：604人（12月1日現在）

みんな仲良しでこれからも元気で続けて行きます♪



姿勢がとても良く年齢より10歳はお若く見えるみなさん



熟練の包丁さばきと
チームワークの良さは圧巻！



食事の後は
みんなで秋の歌を歌いました！



朝採れキャベツにさつま芋、ずいきの茎など、旬の持寄り野菜でテーブルいっぱいの料理ができました！